



認知症地域支援推進員
宮城尚美

令和6年1月1日に認知症基本法（共生社会の実現のための認知症基本法）が施行されました。

認知症基本法は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせるようにするための基本方針を定めた法律です。

その中で9月を「認知症月間」と定め、認知症についての関心と理解を深める行事が行われます。

沖縄市でも「認知症に関する認識を高め、認知症の人に関する市民の理解促進」を図るため、9月12日～9月19日まで認知症普及啓発パネル展を開催します。

沖縄市の各地域包括支援センターには認知症地域支援推進員が配置されています。

9月は認知症月間です！

R6年 認知症月間
～認知症普及啓発パネル展～

もの忘れチェック

令和6年1月1日に施行された「共生社会の実現のための認知症基本法」では、その目的として認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができることを掲げています。9月21日を「認知症の日」、毎年9月を「認知症月間」と定め、沖縄市でも認知症に関する認識を高め、認知症の人に関する市民の理解促進を図るため認知症普及啓発活動としてパネル展を開催します。

認知症ってなに？

相談窓口はどこ？

日時：令和6年9月12日（木）13時から
9月19日（木）16時まで

場所：沖縄市役所1階市民ホール・展示コーナー

内容：★認知症について ★沖縄市認知症施策事業の紹介
★認知症に関する相談窓口や医療機関、介護事業所の紹介とパンフレットの設置等
★厚労省：認知症の人からのメッセージなど 動画
YouTube 放映

主催：沖縄市地域包括支援センター おまつりさびです！

もの忘れチェック

日時：R6年9月12日（木）午後～19（木）午前中
時間：午前10時～12時 午後14時～16時
（土日祝日除く）★認知症地域支援推進員が対応！

《認知症地域支援推進員的主要役割》

- ・ 認知症の方やその家族の相談支援を行います。
- ・ 市民の方に身近な病気として認知症を理解して頂く活動を行います。

（認知症サポーター養成講座の開催など）

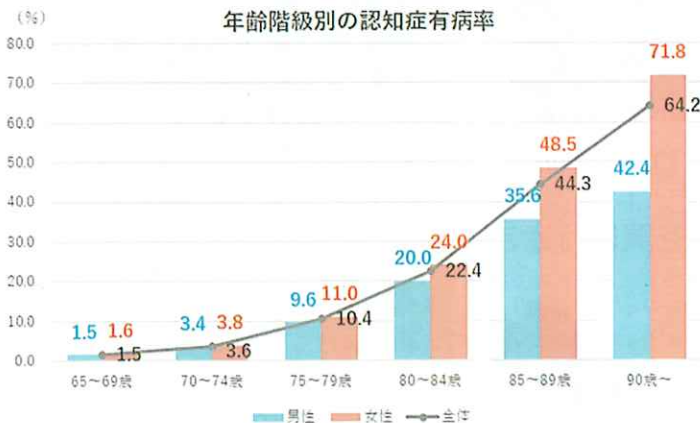
・ 認知症の方やその家族が、状況に応じて地域の支援や必要な医療や介護サービスが受けられるよう関係機関等と連携し支援を行います。

認知症は4人に1人の時代へ！！



認知症有病率が90歳以上は6割を超えており高齢になるほどその割合は高くなっています。

警察庁によると、2021（令和3）年中に認知症により1万7,636人が行方不明と報告があり、そのうち1万2,540人（73.9%）は当日に発見され、7日以内に約99%発見されたようです。消費者庁は、2021年度の認知症等の高齢者の消費生活相談件数が8,551件であったと報告しています。そのうち730人（78.7%）は、本人以外（家族やホームヘルパーなど）からの相談です。



引用資料：2020.7.3 認知症は4人に1人時代へ | シニアライフ総研
<https://seniorlife-soken.com/archive/20105> (閲覧日：2024年8月24日)

高齢者とそのまわり方に気をつけてほしい 消費者トラブル 最新10選

- ①屋根や外壁、水回りなどの「住宅修理」
- ②保険金で住宅修理できると勧誘する「保険金の申請サポート」
- ③「インターネットや電話、電力・ガスの契約切替」
- ④「スマホ」のトラブル
- ⑤健康食品や化粧品、医療品などの「定期購入」
- ⑥パソコンの「サポート詐欺」
- ⑦「架空請求」、「偽メール・偽SMS」
- ⑧在宅時の突然の「訪問勧誘、電話勧誘」
- ⑨「不安をあおる、同情や好意につけこむ勧誘」
- ⑩便利でも注意「インターネット通販」

独立行政法人国民生活センター 2022年9月

地域包括支援センター西部南では、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症等に関する様々な相談ができる窓口を設置していますので、お気軽にご相談ください！



南桃原自治会 避難行動訓練へ参加！

生活支援コーディネーター
城間清美のお宝発見！！

8/4（日）南桃原2丁目公園にて避難行動訓練が開催されました。



高齢者、妊婦さんの疑似体験にて避難行動。公園に設置されている災害用トイレ、ソーラー照明灯、かまどベンチの紹介。コープおきなわより災害時の食についての紹介が行われました。

スマホ講座開催しました！



8/8（木）沖縄市地域包括支援センター西部北・西部南合同見守りサポーター養成講座「第3回ぬちぐすい座談会」を開催。今回は「スマホ講座（初心者編）」を開催しました。



ソフトバンクのスマホ体験 講座「初めて触る！スマートフォン体験」を活用。講師はスマホアドバイザー 天野綾さん。デモ機を使用して参加者全員参加のグループLINEへコメントや写真、スタンプを送り合い、便利な音声入力も教えてもらい、スマホの「楽しさ」「便利さ」を体験しました。

足や靴のことを学びました！

8/27（火）南桃原公民館での高齢者の集い「笑い福いの会」にて沖縄市介護予防出前講座No.5「長く自分の足で歩けるように～足元から健康に、知ってほしい、足や靴のこと～」を開催しました。講師は義肢装具士の宮里夕貴さん。



自分の足で歩きつづけるために（健康な足つくりのための）爪の切り方、靴えらび、靴の履き方を学びました。「今日の話は初めて聞いた。」「今日これから靴屋さんに靴を買い行きます。」などの感想が聞かれました。

良い靴とは履きやすい靴ではなく、歩きやすい靴（ウォーキングシューズ、ヒモ靴など）です。靴の履き方は足を入れたら、かかとをトントン。とめ具（ヒモ、ファスナー、マジック）をしっかりとめましょう。



8/20（火）のまるラジのゲストは南桃原の民生委員児童委員の喜友名朝彦さん（写真中央）でした。民生委員児童委員として活動。その中で、見えてきた地域の課題を解決したくて、社協のボランティアスタッフへ登録。地域を盛り上げたいと感じて、屋台の免許も取得した。昨年9月には防災士の資格をとり、防災情報を地域に発信しています。



発行：沖縄市地域包括支援センター西部南
沖縄市市内1丁目3-25（1F）
☎：098-982-2020 fax：098-982-2021
編集：城間清美・比嘉実希・照喜名重寿・石垣憲作

沖縄市まるつつながるラジオ
FMコザ76.1MHz「まるラジ」
毎週火曜日午前10時から放送中
※包括支援センターの情報を発信中！